

平成25年 11月 7日

関係各位

東京大学生物生産工学研究センター長 妹尾 啓史
(公印省略)

環境保全工学部門教員（助教）の公募について

当センターでは下記により教員を公募いたします。つきましては、貴学、貴機関の関係各位に周知いただきますようお願い申し上げます。

東京大学生物生産工学研究センター (<http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/biotec-res-ctr/>) は、微生物、植物の有用機能を解析・増強するバイオテクノロジー研究を強力に推進し、環境、食糧等の緊急を要する諸問題の解決を図ることを主な目的としています。当センターは環境保全工学、細胞機能工学、植物機能工学の常設3部門と寄付部門（現在2部門）からなり、現在の常設部門の教員定員は教授3、准教授3、助教4です。今回、環境保全工学部門の助教1名を公募いたします。なお環境保全工学部門は教授1名（野尻秀昭）、准教授1名（岡田憲典）、助教1名（今回公募）で構成されており、大学院農学生命科学研究科・応用生命工学専攻の協力講座として、所属する大学院生の指導を行っています。

記

1. 募集人員：助教 1名
2. 所属：東京大学生物生産工学研究センター 環境保全工学部門
3. 募集職の研究領域と講義科目：
 - 1) 研究領域：環境の保全・修復に関わる微生物バイオテクノロジー
 - 2) 担当演習・実験・実習（指導補助を含む）：
(学 部) 応用生物化学実験、生命化学・工学実習、微生物機能開発学
(大学院) 応用生命工学特別実験Ⅰ・Ⅱ、応用生命工学演習、
応用生命工学特別実験Ⅲ、応用生命工学特別演習
4. 採用予定時期：平成26年 2月 1日以降（手続き終了後）
5. 応募資格：下記の全てに該当する方
 - 1) 博士の学位、または同等の学識と研究経験を有する方
 - 2) 環境の保全・修復に関わる微生物バイオテクノロジー分野で優れた研究業績を有し、今後もさらなる発展が期待できる方
 - 3) 学生の教育と指導を積極的に行える方
 - 3) 当該研究部門の野尻教授と協力して研究教育を行える方
 - 4) 上記3.2) 演習・実験・実習を担当可能な方

6. 選考方法：本件助教選考委員会にて選考し、当センター運営委員会の議を経て候補者を決定します。なお、必要に応じて面接を行うことがあります。運営委員会での審議終了後、選考結果を通知します。応募書類は返却しません。
7. 提出書類：各1部
 - 1) 履歴書
 - 2) 研究業績目録：以下を項目毎に分けて記入すること。
 1. 学位論文のタイトルと取得年、取得大学（または学位取得の見込み）
 2. 原著論文（著者全員、論文タイトル、ジャーナル名、巻、頁、発行年を記し、その中の代表的かつ重要と思う論文3編以内の内容と応募者の貢献度を200字程度でそれぞれ記入すること）
 3. 著書および総説等
 4. 特許および技術開発実績
 - 3) 競争的資金の獲得状況（過去5年程度）
 - 4) 教育実績目録
 - 5) 社会貢献目録（学会活動、委員会活動等）
 - 6) 主要論文の別刷3編以内（コピー可）
 - 7) これまでの研究の自己評価（2000字程度）
 - 8) 環境保全工学部門に着任した場合に行う研究の具体的内容と抱負（2000字程度）
 - 9) 学部学生・大学院学生の教育に対する抱負（1000字程度）
 - 10) 自己の研究・教育経歴等について問い合わせることのできる方があれば、その方の氏名と連絡先（住所、電話、メールアドレス等）（2名程度）
8. 応募締め切り：平成25年12月 6日（当日消印有効）
9. 応募書類送付先および問い合わせ先：
〒113-8657 東京都 文京区 弥生1-1-1
東京大学生物生産工学研究センター 長 妹尾 啓史
TEL：03-5841-5139
e-mail：asenoo@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp
（提出書類封書に「環境保全工学部門助教応募書類」と朱筆し、簡易書留にて送付してください）